

児童書



チャレンジミック! 11
ウォルター・ウィック
小学館



クヌギがいる
いまもり みつひこ
今森 光彦
岩崎書店

ドラゴンは爬虫類
かわさき さとし
川崎 悟司 大和書房

全仮面ライダー完全超百科 決定版
講談社

にほんごをまなぶえほん 1はじめてまして・きいてみよう
スーザンももこ 岩崎書店

家守神 1
おおぎやなぎ ちか フレーベル館

一般書



もうひとつの「流転の海」
みやもと てる
宮本 輝
新潮社



笑うマトリョーシカ
はやみ かずまさ
早見 和真
文藝春秋

ふわもこベビーニット 新生児〜2歳児
文化出版局/編 文化出版局

心理学的に正しい!人に必ず好かれる言葉づかいの図鑑
宝島社

いのちの政治学
なかじま たけし わかまつ えいすけ
中島 岳志 若松 英輔 集英社クリエイティブ

あなたとなら食べてもいい 食のある7つの風景
ちはやあかね
千早 茜(他) 新潮社

いっしょに読んで「おはなし会で人気の絵本」(2・3歳〜)

ゆき

「ゆきやこんこ あられやこんこ」でおなじみの童謡を題材にした絵本です。降り積もる雪の中、はしゃぐ子どもたち。無駄を省いたシンプルな絵がそのはじける笑顔を際立たせます。近年、交野では雪合戦ができるほどの積雪はまれなのではないでしょうか。日常ではなかなかできない体験を子どもたちと共有することも絵本の楽しさの1つです。歌詞をたどりながら、雪の世界を満喫してください。



はたこうしろう/絵 ひさかたチャイルド

今回紹介した本は、図書館(室)に新しく入った本の一部です。この他にも多数あります。読みたい本が見つからない時は、係員にお尋ねください。予約・リクエストも受け付けています。 図書館 ☎891-1825、青年の家図書室 ☎893-4881



手話ではなそう

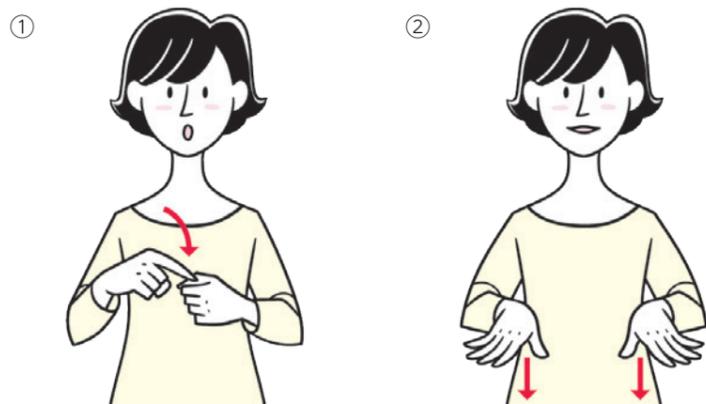
☎ 障がい福祉課 ☎893-6400

お正月



両手の人さし指を寝かせたまま、正面から横向きにします。1月1日、お正月期間を表します。

今年



①年 握った拳の親指側に利き手の人さし指を当てます。丸めた手を木の年輪に見立てています。

②今 身体の前で下に向けて開いた両手のひらを少し押し下げます。2回押し下げると「今日」を表します。

いつかは指定登録されたい

文化財子備軍

古文書から見る江戸時代の私部村

私部村は江戸時代、西株(1070石余・畠山領)と東株(512石・元禄7年から小田原藩領)に分かれ、それぞれに村の代表者である庄屋が村の事務を司っていました。一つの村に2人以上の領主がいることを「相給」と呼び、その村ではそれぞれの領主に庄屋が置かれており、庄屋を務めた家が現存していないと、村の全貌を捉えることができません。現在、私部地区には、庄屋を務めた2家が今も残っており、古文書が大切に保管されています。このようなケースはまれです。

当時の村を知る史料、御細帳

今回は、東株の庄屋を務めた家の史料の中から、天明8年(1788)7月13日に作成された「御細帳下書帳」を紹介します。「御細帳」とは、村から領主に提出した村の概要を記した村の明細帳です。領主に提出する帳簿のため、年貢の負担軽減を狙う村が過少に石高等を記載する場合がありますが、当時の村の状況を大まかに知る有力な史料の1つです。

作物栽培が盛んだった私部村

この史料から当時の畑作に着目します。「菜種子 70石」「小麦 36石」「裸麦(大麦の一種) 170石」とあり、米以外の作物の栽培が盛んだったことが分かります。「菜種子」は油屋等へ売却されており、主にお金を得るために栽培されていました。また、畑の面積を書き上げた後に、「冬作ハ小麦、夏作ハ綿・大角豆等見合二仕申候、秋作ハ大根仕付申候」(冬は小麦、夏は綿・大角豆、秋は大根が植えられ)とあり、私部村は年間を通して作物が栽培されていたと読み取れます。

「天明八年 御細帳 下書帳」 主な記載内容
村高 512石8斗9升3合(東株のみ)
田の等級ごと反畝高数および分米(石高)
畑の等級ごと反畝高数および分米(石高)
菜種子・小麦・大麦・裸麦の生産の有無 (私部村では大麦のみ生産していない)
新田は無いこと
堂嶋役所までの道のり
相給(西株)の高1070石余
助郷(人や馬の提供)は無いこと
上げ米(追加税)のこと
百割割(追加税)のこと
水車1か所
酒屋3軒



「御細帳下書帳」表紙

末尾3行目から「右畑冬作ハ小麦、夏作ハ綿大角豆等見合二仕申候、秋作ハ大根仕付申候」と記載されています。